

多摩音楽祭前夜祭

フィルハーモニア多摩第2回室内楽定期演奏会

〔多摩地域の皆様のためのプロフェッショナル・オーケストラ〕

「子どもたち・お年寄り・青春・若さ」

家族全員が楽しめる音楽の祭典

～金管五重奏編～

Program

シャイト：
戦いの組曲より イントラダ
(By Philip Jones)

バッハ：
主よ、人の望みの喜びを
(By Joe Parente)

ビゼー：
カルメン・ファンタジー
(By Bill Holcombe)

サン＝サーンス：
動物の謝肉祭
(By Bill Holcombe)

フンパーディンク：
ヘンゼルとグレーテル
(Bearb. Frank Rudhardt)

室内楽：フィルハーモニア多摩
トランペット：柴田紘子、萩原千穂
ホルン：田中夏樹 トロンボーン：北見麻理
チューバ：西口 学
語り：今村 能（音楽監督）

2011年7月1日（金）
19:00 開演（18:30開場）
パルテノン多摩小ホール
（多摩センター駅下車）
入場券：一般2,000円
学生・児童1,000円〔全席自由〕

パルテノン多摩チケットセンター Tel. 042-376-8181
お近くのファミリーマート（Famiポート）
e+ イープラス <http://eplus.jp> でお申込
→ お支払い&受取：お近くのセブン・イレブン
多摩大学樋口裕一ゼミ：Tel. 080-1060-4241 南里
多摩フィルハーモニア協会：Tel. 090-3507-0250 柴田

主催：多摩大学樋口裕一ゼミ 協賛：小田急電鉄株式会社

多摩大学樋口ゼミは、2009年4月、ベストセラー『頭がいい人、悪い人の話し方』のほか、文章術に関する著作やクラシック音楽関係の著作の多い多摩大学経営学部教授樋口裕一によって発足。40数名の多摩大学経営学部の学生から成る。これまで、新居由佳梨（ピアノ）、江島有希子（ヴァイオリン）、三枝成彰（作曲）、山本裕康（チェロ）、佐藤俊介（ヴァイオリン）、菊池洋子（ピアノ）、三宅理恵（ソプラノ）、森美代子（ソプラノ）、フィルハルモニア多摩メンバーを招いて、パルテノン多摩大ホール、小ホール、H A K U J U H A Lなどでクラシック音楽を中心とするコンサートを企画運営してきた。

多摩フィルのクリスマスコンサート みごと！

今村能指揮による「ラ・ボエーム」第二幕。クリスマスイブの場面。ミミは嘉目真木子、ムゼッタは柴田尚子、ロドルフォは神林淳。歌手陣もそろっていた。オペラ好きの私にも、まったく不満のない歌手陣だった。多摩フィルハルモニア合唱団もすばらしい。が、私は何よりもオケの音を堪能した。いや、東京の有名オケにまったく引けを取らない。鮮烈でクリアな音がびしっと決まるところがたくさんあった。小編成のオケなのにしっかりと厚みがあり、響きが美しい。今村さんの指揮も勢いがある、リズムカルでわくわく感が強い。私は実はブッチー二嫌いなのだが、第二幕だけではもったいないと、心から思った。多摩フィル、そして今村能、おそろべし！！フルオーケストラの本格的な曲を、このメンバーでぜひ聴きたい。樋口裕一（『頭がいい人悪い人の話し方』250万部ベストセラー著者・多摩大学教授）

フィルハルモニア多摩に興奮！

ラヴェル「ダフニスとクロエ」、しなやかで強靱な音。まさしくラヴェルの精妙な音がしっかり出ている。今村さんの指揮も、ドラマティックに盛り上げながらも、ラヴェルの知性と上品さを失わない。管楽器、とりわけフルートの美しさにうっとりした。合唱も見事。「一体、この人たちは何者なんだ？！」と思った。私の知らないオケがこんな見事な演奏をすることは、予想もしていなかった。まさしくプロのオケ！何よりもすごいと思ったのは、後半の『グロリア』だ。ブーランクの宗教曲は難しい。生真面目すぎるとブーランクの軽妙さが出ない。軽妙にやってしまうと、敬虔な深みが出ない。軽く演奏しながらも、そこに深く内省的な信仰心がなければならない。今村さんの指揮は、その点で私には理想的だった。音の集中力が素晴らしい、しかもしなやかさを失わない。それについていくオケも見事。 <http://yuichi-higuchi.cocolog-nifty.com/blog/2010/07/index.html> 樋口裕一

多摩フィルの見事な演奏に感嘆！

バッハよりも100年ほど前のバロック初期の作曲家ヤジエンスキの曲に強くひかれた。宮廷音楽風でありながら、どこか土俗的。ちょっと不器用で、実に心の奥にしみる。素晴らしい演奏だった。観客も一体になって音楽を楽しみ、感動をともにしていた。とてもいい雰囲気。今村さんのしゃべりも楽しい。現代楽器で演奏されているのだが、聞こえてくる曲はまごうことなく、ひなびた、それでいて趣のあるバロックの音。これほど見事にバロックの精神を描き出してくれるのは驚くべきだと思った。楽器演奏者も見事。フルートもいいし、弦楽器もいい。そして、メリハリの利いた、それでいて決して大げさにならない指揮がいい。会場を一体にして、しみじみと音楽を楽しむ雰囲気。改めて、多摩フィルの実力のほどをしたったのだった。 樋口裕一

フィルハルモニア多摩（多摩地域の皆様ためのプロフェッショナル・オーケストラ）Filharmonia Tama

多摩地域の皆様のために、音楽を熱烈に愛する仲間たちにより2004年に結成。ポーランド国立歌劇場指揮者：今村能音楽監督の下、地元で根ざし、尚且つ質の高い音楽を多摩地域で提供する事を目指す。音楽が無いと人間は生きられない。音楽愛好家の方にも、「エッ、クラシック？」という方にも、身近なところで音楽を楽しんで頂きたい。パルテノン多摩、稲城市立プラザ、アミューたちかわを本拠地として、多摩地域各地に出没。
<http://homepage3.nifty.com/tama-fil/>

金管五重奏：

柴田紘子(Trp.) 国立音楽大学卒業。東京芸術大学大学院修了。トランペットを大倉滋夫、熊谷仁士、杉木峯夫の各氏に師事。現在、ヤマハボビュラーミュージックスクール講師。FT多摩首席トランペット。

萩原千穂(Trp.) 国立音楽大学卒業。今までにトランペットを、吉澤賢太郎、山本英助、北村源三の各氏に師事。現在エイト楽器のトランペット講師。プライダルやアンサンブル等で演奏活動を行っている。FT団員。

田中夏樹(Hr.) 洗足学園音楽大学卒業。ホルンを松崎裕氏に師事。現在、フリーランスのホルン奏者として、オーケストラ、室内楽等、幅広く活動中。ブリッツプラスメンバー。洗足学園音楽大学演奏要員。FT団員。

北見麻理(Trb.) 北海道出身。国立音楽大学卒業。これまでにトロンボーンを真弓基教、伊藤清、箱山芳樹の各氏に師事。FT団員。他フリー奏者としても活動中。

西口 学(Tub.) 武蔵野音楽大学卒業。チューバを柏田良典、佐藤潔の各氏に師事。室内楽を佐藤潔氏に師事。マテリアルプラスクインテット、ユーフォニアム・チューバカンパニー各メンバー。

今村 能（語り・音楽監督）

カラヤンが見出した希有の才能、世界のオペラ舞台でも活躍。ベルリン・フィル、ミラノ・スカラ座管、ウィーン管楽Ensを指揮。カラヤン、フェーラ、ホルヴァート、小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、高階正光各氏に師事。カラヤン・コンクール・ジャパンに入賞。ミラノ・カンテッリ国際指揮者コンテスト4。フィテルベルク国際指揮者コン優勝。欧米最高峰の楽団を指揮（世界12ヶ国・34楽団）。N響、読響等全国24もの主要楽団を指揮。OE金沢専属指揮者、東京ハルモニア室内オケ常任指揮者を歴任。ポーランド国立歌劇場指揮者。イタリア・スポレート歌劇場、新国立劇場で指揮。東京室内歌劇場指揮者会員、国立音楽大学指揮法講師。イタリア・ベルギー・ポーランド共同制作「サムソンとデリラ」音楽監督。

[お願い]・やむを得ない事情により、出演者・演奏曲目・曲順などが変更される時があります。